

演劇・介護  
経験不問

# 老いと演劇

## ワークショップ



演劇体験を通して、認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップです。実際に身体を使って演じることで、認知症ケアに対しての気づきやヒントを講師・参加者で共有していきます。

老いと演劇  
OiBokkeShi  
(オイ・ボッケ・シ)  
とは？

俳優で介護福祉士の菅原直樹を中心に、2014年に岡山県和気町にて「老いと演劇」OiBokkeShi設立。看板俳優は、認知症の妻を在宅で介護する岡田忠雄(97歳)。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施。高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチするその活動は、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集める。■公式サイト <http://oibokkeshi.net/>

講師／菅原 直樹



撮影：草加和輝

1983年生まれ。劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi主宰。四国学院大学非常勤講師、美作大学短期大学部非常勤講師。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。小劇場を中心に、前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2014年「老いと演劇」OiBokkeShiを岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。2016年より活動拠点を岡山県奈義町に移す。

2023.11/23 〔木祝〕

会場 横浜市神奈川区民文化センターかなっくホール  
音楽ルーム(当館4F)

時間 14:00~16:00 (15分前受付)

〈参加費〉1,000円(当日精算) ※事前予約制

〈定員〉30名 ※定員に達し次第、受付を終了。

プログラム ※都合により、内容が変更になる場合がございます。

### ①「老いと遊び」遊びリテーション

介護現場で実践されている演劇的手法「遊びリテーション」を体験。遊びリテーションとは、認知症の人や障害を持ったお年寄りに「遊び」を通じてリハビリをしてもらう方法論です。

### ②「認知症と演技」イエスアンドゲーム、ボックス

参加者に「介護者」役と「認知症の人」役を交互に演じてもらい、認知症の人の言動を受け入れるコミュニケーションを体験してもらいます。

【参加ご予約・お問い合わせ】 かなっくホールチケットデスク **045-440-1219** (受付時間 10:00~21:00)※休館日除く

●休館日は毎月第3月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

主催 横浜市神奈川区民文化センターかなっくホール指定管理者 後援 神奈川区